教育委員会定例会（平成２２年１月）会議録

１．日　　時	平成２２年1月７日（木）　１６：００　～　１７：５０
２．場　　所	新居浜市庁舎３階　応接会議室
３．出　席　者	委員長　宇野征一 委　員　太田恵理子　三木由紀子　小野正師 教育長　阿部義澄 事務局長　髙橋康文 総括次長　近藤清治 次　長　秋本　司 課　長　関　福生　藤田秀喜　村上久和 曽我幸一 館　長　坂本睦美
４．教育長の 一般報告	教育長報告 １２月分行事報告及び１月分行事予定について その他
５．記録者氏名	社会教育課　帆谷　麻衣
	＜議　案＞ 議案第１号　平成２２年度教育基本方針について 議案第２号　新居浜市立郷土美術館協議会委員の任命について ＜その他＞ （１）平成２１年度教育委員会取組方針について （２）子どもたちの成長を願って（平成２２年度教育委員会取組方針）（案）について

宇野委員長	みなさんあけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。それでは定刻がまいりましたので、平成２２年第１回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。 本日の会議録署名委員は三木委員さん、小野委員さんにお願いをいたします。会期は本日限りといたします。平成２１年第１２回定例会会議録は、太田委員さんと三木委員さんにご署名をいただいております。それでは、教育長の一般報告について、教育長さんお願いします。
阿部教育長	それでは、一般報告を行います。資料の２ページをご覧ください。 １２月の主な行事についてご報告いたします。 ４日　角野中学校男子の駅伝チームが、市長に第２９回愛媛中学駅伝競走大会で優勝し、１２月１９日山口市で開催される全国大会への参加報告に来られました。全国大会では、男子７位入賞という成績を残してくれました。選手並びに応援していただいた関係者の方々にお礼申し上げます。今回の経験を生かした中学生活からさらに前進していってほしいものです。 ５日　第２８回新居浜市社会福祉大会が開催され、表彰や体験発表等が行われました。体験発表では東中学校、東高校、商業高校の生徒が行い、「二泊三日の入浴や食事の介助を通して、将来の仕事としてやっていきたい。」「お年寄りの笑顔が一番印象に残っています。来年も参加したい。」「体験をさせていただいてありがとうございました。」と述べられました。大変有意義な体験活動であったことが伝えられました。 ８日９日１０日と１２月市議会本会議が開催されました。今議会では、８名の議員さんから質問がありました。主な質問として、体育振興会への活動交付金制度、学校施設の芝生化、新型インフルエンザへの対応、環境施策、地域主導型公民館、学校給食費の滞納対策、小中学校の連携、教員定数と教育予算、教育関係の事業仕分けについて等の質問が行われました。 １２日　第六回新居浜市郷土芸能発表会が平成２１年度文化庁「地域文化芸術振興プラン」愛媛県県民総合文化祭の一つとして開催されました。今年は新たに「西蓮寺獅子舞」「神郷史情」の団体が加入しました。幼児から高齢者まで郷土芸能に携わっている方々が一堂に会して、年々広がりを持って取り組まれている関係者の方々に深く感謝したいと思います。 １４日　福祉教育委員会が開催されました。 １５日　住友重機労働組合連合会愛媛地区本部より、市内小学校１７校に対して図書券が贈呈されました。昭和５１年から毎年行われ、今年で３４回目の温かい「心」を届けてくれました。 １７日　市議会本会議が開催され、委員長報告、討論、採決が行われました。 １８日　平成２１年度第２回小・中学校長研修会が「差別の現実に学ぶ」との演題で、新居浜市市民部人権擁護課高津章人主幹の講話を聴いた後、「人権同和教育の推進者として、どのようにリーダーシップを発揮すればよいか」をテーマとして協議を行いました。

	２０日　新居浜の冬の風物にもなる、金栄小学校のドリームツリーの点灯式がもたれました。新居浜西高等学校の吹奏楽部の演奏等で盛り上げてくれました。また、豚汁に地域の人たちの心も身体も満たされた思いでした。 ２１日　子どもたちを取り巻く環境の中で、これまで必要とは考えられていましたが、小学校・幼稚園・保育園等の関係者が一堂に会して話し合ったことが残念ながらありませんでした。しかし、子どもたちの発達段階において、その必要性から新たな取組をしていこうとする機運が高まり三者の代表者の話し合いの場が持たれました。 ２４日　愛媛ＦＣ福田健二選手が市長に表敬訪問されました。福田選手は、泉川ＳＳに泉川小学校の５年生まで所属し、その後千葉県に転居されました。高校卒業後プロのＪリーガーとして国内外で活躍し、このたび郷土チームの愛媛ＦＣに加入されました。５年間に７チームの南米や欧州のチームでの活躍で、外国生活を通して大切なのは「好奇心と努力しようとする姿勢、人間関係はあいさつが大事です。進んであいさつをしていくことで、会話を続けていくことができました。」と答えられました。今後の活躍を応援していきたいものです。 ２５日　公立幼稚園・小・中学校第２学期終業式が行われ、楽しい冬休みを迎えました。 ２６日　新居浜中央ライオンズクラブの皆さんの支援を受けて、第４回新居浜市こころのことばコンクールの表彰式が開催されました。市内の小学生２６４点、中学生３３０点、合計５９４点の、日ごろ感じている正直な思いが伝えられました。子どもたちのつづった気持ちを多くの方々に伝えていきたいと思います。また、記念行事として、「夢に向かって～チャレンジすることの大切さ」と題して、高宮敏光先生が基調講演を行いました。高宮先生は隻腕の剣士として大阪体育大学を卒業し、現在枚方市第３中学校の体育教師をされております。先生自身剣道を通して、「目標や夢を持つとがんばれる。何事にも挑戦してみなくてはわからない。自分の力を信じればできないことはない。」と、訥々とこれまでの生活や学級生徒や部員に語っていると話されました。 ２８日　年末の市長訓示が行われました。 １月２日　平成２２年武揚会の稽古始めが、武徳殿で凛とした厳粛な雰囲気の中で執り行われました。 ４日　年始の市長訓示が行われました。 また、４日～６日の３日間発達支援スキルアップ連続講座が開催されました。愛媛大学准教授吉松先生、特別支援教育士スーパーバイザー渡部徹先生を講師に「支援の在り方」「ペアレントトレーニング」について開催されました。９日にも総合福祉センターにおいて開催されます。 新居浜川柳「峠」の鈴木頌流さんから「平成２１年度第２４回国民文化祭川柳しずおか２００９」の小・中学生の応募作品の３０５８３句の内、入選５４０句の中に大好き泉川っ子教室の６名と教育会土曜寺子屋の１名の作品が選ばれたことを伝えてくれました。

	大好き泉川っ子教室 この海をよごさないでと波さけぶ　５年　三浦胡桃　さん リサイクル次のお役目なんだろな　６年　高橋みなみ　さん たのしいな今日はごみの日お手伝い　５年　内野友里賀　さん カラオケで生き生きうたうポニョのうた　５年　明星華奈　さん せんりゅうはみんながするとたのしいな ２年　長谷川太郎 さん 年とってもひいばあちゃんはまだ元気　４年　三浦若葉　さん 教育会土曜寺子屋（若宮小） 生き生きと一年生が笑っている　５年　松浦加奈　さん 学校外での活動で、地域の方々の支援を得て伸ばしていく環境をさらに整えていきたいものです。 その他、１月の主な行事予定について報告を申し上げます。 ８日　公立幼稚園・小・中学校第３学期始業式 １０日　平成２２年成人式 １３日　新居浜文化協会創立６０周年記念式典並びに祝賀会 １４日　臨時校長会　エコキャップ搬入（生徒会） １５日　トップアスリート派遣事業宇津木妙子ソフトボール教室（角野小） １６日　平成２１年度新居浜市小中学校科学奨励賞発表会（総合科学博物館） 平成２１年度企画展「森本　洋　油絵展」～２４日までの期間開催 １７日　平成２１年度企画展「親子で油絵体験」 第２５回新居浜凧揚げ大会（マリンパーク多目的広場） ２１日　学校図書館機能強化事業模範授業（船木小） ２２日　学校図書館機能強化事業模範授業（多喜浜小） 子どもの体力向上指導者養成講習会（金栄小） ２６日　新居浜市小中学校教頭研修会 ２９日から３０日　教育委員先進地研修（佐世保市） 以上で、一般報告を終わります。 なお、冬休み中の児童生徒の怪我等の報告はありません。全員楽しい家庭生活が送れたものと思います。
宇野委員長	はい。ありがとうございました。ご質問・ご意見等ないようですので、議案審議に入りたいと思います。本日の議案は第１号、第２号の２議案ございますけれども、そのうち第２号は人事案件でございますので、新居浜市教育委員会会議規則３７条の規定により、この会の最後に非公開で審議させていただきたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。
委員一同	はい。
宇野委員長	異議なしと認めます。それでは、議案第１号　平成２２年度教育基本方針について事務局から説明をお願いいたします。

髙橋事務局長	それでは、議案第１号　平成２２年度教育基本方針についてでございます。教育基本方針につきましては、基本的には５年に１度大幅な改正を行っております。平成１８年度に大幅な改正を行いまして、それを考慮しますと平成２３年度が大幅改正を行う年となっております。その間につきましては、簡易な改正、もしくは現状維持となっております。昨年１月の教育委員会定例会におきまして、『１　生涯にわたる学習機会を提供し、その成果が評価される学習社会の構築に努める。』の下線部分につきまして、『１案：知の循環型社会の構築に努める。』、『２案：その成果が生かされる学習社会の構築に努める。』という提案が出まして、１年を通して変更するかどうかの検討課題となっております。もう１つですが、『７　国際化、情報化、環境、防災等現代的課題に対応する教育を進める。』のなかで、今年食育に取り組むということで、『１案：防災、食育等』に変更してはどうかという案が出ております。よろしくご審議をお願いいたします。
宇野委員長	はい。１０項目あるなかの１項目の下線部分『その成果が評価される学習社会の構築に努める。』ですが、１案、２案と提案されました。ご意見をいただきたいと思います。 １案か２案に改正ということで、どちらかに挙手をお願いします。 （１案、２案それぞれ挙手） ２案の方が多かったように思えます。また、２案の方が文章もわかりやすいように思えます。２案に決めさせていただいてよろしいでしょうか。
委員一同	はい。
宇野委員長	続いて、７項目の下線部分『防災等』を『防災、食育等』へ改正、食育を加えるということですが、的を射ていると思います。ご異議はございませんでしょうか。
委員一同	はい。
宇野委員長	それでは、承認とさせていただきます。議案第２号は人事案件となりますので、非公開で審議させていただきます。先にその他の内容に移らせていただきます。その他（１）平成２１年度教育委員会取組方針について、事務局からご説明をお願いします。
髙橋事務局長	はい。今回平成２１年度教育委員会取組方針の１２月末の進捗状況につきまして、各課から報告をさせていただきます。

関社会教育課長	はい。社会教育課から報告いたします。 ＜資料に基づき説明＞
藤田学校教育課長	それでは、学校教育課から報告いたします。教育委員会の中で、７月末の進捗状況については、お目通しいただいていると思いますので、８月以降変化のあったところを中心にご説明いたします。 ＜資料に基づき説明＞
曽我発達支援課長	続きまして、発達支援課から報告いたします。 ＜資料に基づき説明＞
村上学校給食課長	続きまして、学校給食課から報告いたします。 ＜資料に基づき説明＞
坂本図書館長	続きまして、図書館から報告いたします。 ＜資料に基づき説明＞
近藤総括次長	最後に、体育文化課から報告いたします。 ＜資料に基づき説明＞
宇野委員長	はい。ありがとうございました。内容が多いですが、ただいまのご説明にご質問・ご意見等ありませんか。 １点だけよろしいですか。社会教育課で『別子銅山子ども探検隊』を一泊で実施したということでしたが、わりと学校の教師が学校行事として宿泊を伴う体験学習を実施した時でも、なかなか指導が難しいという状況があります。保護者も参加されるのかもしれませんが、指導が難しいという実態があるのではないでしょうか。
関社会教育課長	委員長のおっしゃられていることは、多分に感じられるところがあります。今回は、６人ぐらいにグループ分けをして、それぞれのグループに高校生１名がリーダー的な存在として活動したのですが、グループによっては高校生の言うことをなかなか聞かない子どもも正直おりました。山を登りますので、最後のほうは体力的にも辛くなり、わがままを言い出す子どももおりました。しかし、今回見ておりますと南高校の生徒たちも我々大人が介入する前に、子どもたちにお兄さん・お姉さん的存在で指導していたようです。そのことは両者にとって非常にプラスになったように思います。
宇野委員長	お兄さん・お姉さんの存在が大きいということですね。

関社会教育課長	そうだと思います。
宇野委員長	他に何かありませんか。特にないようですので、次にその他（２）子どもたちの成長を願って（平成２２年度教育委員会取組方針）（案）について説明をお願いします。
阿部教育長	はい。先ほど各課の課長から学期で言えば２学期の活動について報告をしていただきました。平成２１年度すべては終えていませんが、１学期、２学期分の評価をして、平成２２年度の取組方針を作成していきたいと思います。資料をご覧ください。まず、平成２２年度１月４日付けで整理したものですが、昨年同様スローガンは『愛情と信頼・深めよう　絆』。基本方針につきましては『未来を担う新居浜の子どもたちが、自立して社会で生きていく力を身につけるため、教育の質を高め、社会全体で子どもを育てる。』目標につきましては、６つの項目を示しております。具体的な項目といたしましては、昨年度と比較して新たに取組を進めていくものについて説明していきたいと思います。新規取組につきましては、下線を入れております。 ２ページをご覧ください。「学校へいこうデイ（日）」につきましては、市内統一することとなり小学校は１０月７日（木）、中学校は９月２８日（火）に統一して実施したいと思います。「学校へ行こうデイ（日）」につきましては、やはり地域との連携、学校は地域に支えられているという考えのもと、また情報交換というようなことをより積極的にしていきたいと思います。 次に「夢広がる学校づくり推進事業」につきましては、今年度泉川小学校が新たに取り組むようになり、「郷土の偉人に学ぶ遠藤石山」ということで、泉川の最初の寺子屋を開き、校歌にもなっております遠藤石山を取り上げていきます。 次に、実践的な環境学習、食育の調査研究を推進していきたい。特に不登校につきましては、新居浜市の最重要課題として取り上げておりますが、やはり２桁の子どもたちが学校になかなか来られない、またその状況を探っていったときに子ども自身が持つ活力をどう育てていくか、その具体的な方策が必要なのではないかと思います。教育委員会としても、基本的な生活習慣を身につけさせていけば、不登校も改善されていくのではないかという考えもありましたが、具体的に何をするかと考えたときに、明確な答え・方策が打ち出されていなかった。ただ、名目的に基本的生活習慣とか【早寝・早起き・朝ごはん】と言いながら何をしていたのかということから、かけ声だけではなく、実際に取り組む方策を見つけていきたい。そのような意味合いで環境教育と食育を結びつけた生命をはぐくみ健康につながる環境・食のサイクルについて学んでいってはどうかということで、新たに取り

	上げました。なお、これにつきましては後ほど報告したいと思います。 　次に図書館につきまして、学校図書館活性化推進実践校４校（船木小学校・多喜浜小学校・金子小学校・大生院小学校）を指定して、学校図書館の利用を推進していきたいと思っております。 　不登校対策につきましては、学校における取組の相談活動ですが、これは今年度の配置状況です。来年度も要望しておりますが、明確になっておりません。 　次に６ページをご覧ください。特別支援教育についてですが、昨年度は発達支援準備室というかたち、今年度は発達支援課というかたちで活動しております。この２年間の活動のなかで、やはり相談活動が大事であると言いながら、施設的に相談できる雰囲気ではなかったのではないかと思います。曽我課長からも相談件数・相談人数・サポートファイル等の報告がありましたが、より充実を求めていく、また特別支援を必要とする子どもたちのことを考えますとさらに充実させていくことは必要だと思います。特にその内容としましては、相談活動の充実、肢体不自由児に対する支援を中心にしていきたいと思います。そしてそのなかで中核的機関として「子ども発達支援センター」というものの設置を目指していきたい。場所につきましては、現在の教育委員会の５階では、非常に狭いですし、相談活動において個人のプライバシーが守られるかというと難しいと思います。そのため、現在の生涯学習センター（旧図書館）を改装して発達支援課を設置し、発達支援センターを作っていきたいと思います。１０月開設を目標に取り組んでいきたいと思います。発達支援課、子ども発達支援センターの活動内容につきましては後ほど、曽我課長から説明していただきます。 　次に７ページ、現在小学校には放課後児童クラブというものがあります。しかし、学校の教育委員会以外の活動ということで、これまであまり接点がありませんでした。しかし同じ学校の子どもたちが入っているのになぜだろうかということ、そして発達支援課の活動を通して保育園・幼稚園・小学校がほとんど連携されていないということで、１１月、１２月に小学校・幼稚園・保育園の各代表者に集まっていただき、会合を開き情報交換会を開催するといった協議会を作ってほしいという要望がありました。幼稚園・保育園・小学校の情報交換・交流会をより充実させていきたいと思います。 　次に８ページ目、中学生海外派遣事業について、今年度はインフルエンザで対応できませんでしたが、平成２２年度は実施していく方向で考えております。 　そして、キャリア教育につきましては、小学校高学年を対象に、四国経済産業局と連携して、四国内の先進的なものづくりに取り組んでいる企業見学の場を新居浜市の子どもたちに作りたいと思っており

	ます。 　９ページ目、人にやさしいまちづくりのなかで、平成２３年度に新居浜市が取り組む環境自治体会議の開催もあり、学校版の環境ＩＳＯを導入している垣生小・角野小・神郷小を支援していく活動と同時に新居浜子ども環境塾というものを開催してみたいと思っております。別子銅山の自然を活用し、小学校高学年から中学生４０名程度を対象に、３泊４日程度の日程で東平を中心に宿泊研修を行いたい。そのなかで、明治の初めに別子銅山が亜硫酸ガスで荒れていたなか、日本で最初に環境というものを取り上げた伊庭貞剛の業績について、新居浜市が全国に発信する環境に対する先進地であることを子どもたちに伝えていく活動を行いたいと思います。 　また、地球温暖化防止ということで、節約や光熱水費の削減というようなことで、前３ヶ年の平均使用量と対比して努力している学校について支援を行っていくという体制で行っていきたいと思います。 　続きまして、１１ページの学校教育環境の整備についてですが、学校施設の安全性確保を図るため、危険箇所の改修を行うとともに、耐震補強工事を継続して実施する計画にしております。以上です。
宇野委員長	それでは、発達支援課長から補足の説明をお願いします。
曽我発達支援課長	資料をご覧ください。先ほど教育長から説明がありましたが、１０月の開設を目標に「子ども発達支援センター」を設置したいと考えております。場所につきましては、文化センター大ホール南側の旧図書館跡１階、２階のフロアーを利用したいと考えております。発達支援センターにつきましては、発達支援課のなかに係の位置づけで置くことになります。発達支援センターの業務も含め、発達支援課の業務となります。今まで学校教育課で行っておりました『特別支援教育』の就学指導、特別支援教育支援員の配置、就学相談の業務につきましては『特別支援教育』の枠組みとして１つの係として配置します。それ以外の今年度実施しております面接相談・訪問相談等をしております相談業務プラス巡回相談、ケース会議といった『相談業務』については「子ども発達支援センター」の業務となります。また、神郷幼稚園にあります【育ちの教室】といいまして自閉症等の子どもの療育という分野、宮西小学校にあります【ことばの教室】の就学前の部門を合わせまして『早期教育・相談業務』としてこちらも「子ども発達支援センター」の業務となります。また、講演会・研修会、発達支援協議会の運営といったものが「子ども発達支援センター」の業務となります。 　配置につきましては案の段階ですが、１階は主に相談業務の部屋となります。今のところ相談室を４部屋設けました。今までは相談者に

	市役所に来ていただいてということだったのですが、気軽に相談に来ていただけるようにしたいと思います。青少年センター・あすなろ教室・発達支援課・ことばの教室の事務所の設置を１つのフロアーにと考えております。現在１階にあります【あすなろ教室のホームルーム・学習室】を２階に設置して、その南側に【育ちの教室】、同じく【ことばの教室】就学前部門のプレイルームや個別の指導室を設置したいと考えております。【育ちの教室】【ことばの教室】が併設されることにより、重複している子どもの充実を図れるのではないかと思います。 　４月から改修に入りまして、１０月設置を目指しております。以上です。
宇野委員長	はい。ありがとうございました。
阿部教育長	なお、1月１４日の臨時校長会で平成２２年度教育委員会取組方針について説明し、１月末までに各学校からの意見をうかがって、２月中に取りまとめて３月の定例教育委員会で報告したいと考えております。最終決定した後、３月に臨時校長会で通知し、春休み以降に取り組んでいただきたいと思います。 　なお、大変申し訳ありませんが、２月の定例教育委員会までに教育委員さんとしてのご意見をいただけたらと思います。よろしくお願いします。
宇野委員長	教育委員さんよろしくお願いします。ただ今のご説明に何かご意見・ご質問ございませんか。
小野委員	はい。８ページのキャリア教育で企業見学の四国経済産業局と連携し、「四国内の」ということなのですが、特にものづくりに関して、新居浜市・商工会議所・機産組合がものづくりセンターを作ろうという運動が起きておりまして、特に新居浜市はものづくりに優れたまちだと思いますので、もし数年内にものづくりセンターができれば、研修施設が整っておりますので、子どもたちにも入ってもらえます。例えば、住友企業のなかで日本一、世界一と生産しているものがいくつかあったように思います。地元新居浜市のなかに、例えば地産組合のなかにでも素晴らしいものづくりの実績があると思いますので、ぜひ郷土新居浜のなかでの企業見学というものを取り入れていただきたいと思います。また、日本一、世界一については調べたいと思いますので、よろしくお願いします。
阿部教育長	ご意見ありがとうございました。

宇野委員長	他にございませんか。そうしましたら、教育委員会の取組方針について見直していただいて、次の定例会でご意見をいただきたいと思います。特に、「子ども発達支援センター」については、開設については大変かと思いますが、素晴らしい取組ですので、頑張っていただきたいと思います。その他ありませんか。
阿部教育長	定例教育委員会の生徒指導報告を行いたいと思います。１２月までの不登校の状況ですが、１０４名となっております。平成１７年度から比較しますと減少してきております。学年別の項目を見ていただきたいのですが、昨年度同時期と比較しますと小学校は倍増していることがわかります。昨年度は６名だったのが今年度は１５名、そして中学校ですが、中１ギャップと言われておりましたが、小・中連携の取組の効果で、１年生が１３名と半減してきております。努力の成果があったと思われます。 不登校発生率についてご覧ください。 ＜資料に基づき説明＞ 教育委員会からの指導で、不登校と体調不良による欠席を分けて集計していたのですが、病気欠席の子どもに関して１１月から１２月に再度確認しました。中学生になると不登校が増え、小学生だと不登校よりも心因性などストレスによる病気欠席が多いということから調査をいたしました。体調不良から不登校に転換する場合が多く、小学校の不登校が増えているのではないかという捉え方をしております。見直しの結果、不登校児童生徒数が増えて１０４名となっているとご理解ください。 現在、不登校につきましても、心因的な要因で不登校になっている子どもと退化傾向・反社会的傾向で非行関係の子どもがおります。後者については、ＰＴＡまたは新居浜市でボランティア的に子どもたちに関わってくれている方で、校区外の方が仲介してＰＴＡ会長と取り組んでおります。現在、該当子ども・保護者から外部の方への悩み相談などの相談活動が進んでいると聞いております。また、一度３０日を超えて欠席すると、不登校者数にカウントされてしまいますが、学校外の大人との関わりによって精神的に落ち着き、改善されている子どももいると聞いております。 生徒指導関係については以上になります。
宇野委員長	ご報告ありがとうございました。その他、何かございませんか。
関社会教育課長	はい。お手元の「平成２２年度　教育委員会臨時・非常勤職員採用試験について」の資料をご覧ください。２月に試験を行います職員の日程でございます。この８つの職種につきまして試験を実施したいと

	思います。この後、３月になりますと、公民館の主事・主事補、発達支援課関係の指導員等も募集いたします。 　それともう１件でございますが、先ほどから話がありました食育に関して、今回教育委員の皆さん方で１月２９日、３０日に視察研修を行うことを予定いたしております。佐世保市を中心に食育に関する話を聞いたり、あるいは現場を訪ねる研修日程を想定しております。
坂本図書館長	図書館から新居浜市図書館運営懇談会開催のお知らせです。２月５日（金）に図書館多目的ホールにおきまして運営懇談会を行います。傍聴ができますので、教育委員の皆さんお時間がありましたらよろしくお願いします。
曽我発達支援課長	発達支援課から育児講演会のお知らせになります。西条保健所が主催する事業になりますが、ＮＰＯ法人えじそんくらぶの高山恵子先生が行います。日時が１月１８日（月）なのですが、ご都合が合うようでしたらよろしくお願いします。
関社会教育課長	確認だけさせていただきます。１月１０日（日）成人式がありますので、ご参加よろしくお願いいたします。
宇野委員長	それでは、２月の定例会は２月４日木曜日１６時より開催させていただきます。以上をもちまして平成２２年度第１回教育委員会定例会を一時閉会いたします。ありがとうございました。 　＜以下、非公開にて審議＞ 　新居浜市教育委員会会議規則第５４条の規定により署名する。 　委員名 　委員名